

和泊町立大城小学校公開研究会

<研究主題> 自ら学び、共に高め、成長していく児童の育成
～複式・少人数のよさを生かした算数科指導を通して～

<研究の視点1> 複式・少人数指導における工夫

- (1) ガイドとフォロワーの育成 → 児童が学習方法を「知り」、自分たちでできるようにしよう！
 - ・ 系統性をもたせ低・中・高の「ガイド学習の手引き」と目指したい「フォロワーの姿」の作成と活用
 - ・ 手引きや学習のきまり等をまとめた「大城小スタンダード」の作成と活用
- (2) 学習計画表を活用
 - 児童が学習の「見通し」と「ゴール」が分かるようにしよう！
 - ・ 児童と学習の流れを話し合い、学習進行計画表として掲示
 - ・ 学習計画表を活用した学習支援員との連携
- (3) ICT機器・ホワイトボードの積極的な活用
 - 児童が説明しやすいようにしよう！
 - ・ タブレット端末、電子黒板、書画カメラ等を活用し、児童の考えを可視化し説明
 - ・ ①前に出て発表、②児童のところに集まって発表、③タブレット端末での発表の使い分け



大城小スタンダード表紙

<研究の視点2>

考えを深め、定着を図るための工夫

- (1) 考え方を工夫する
 - 算数モンスターを「選べる」ようにしよう！
 - ・ 見方・考え方を働かせるために「算数モンスター」を活用
 - ・ 指導過程ごとに使う目的を整理
- (2) 考えを広げたり、深めたりする場の設定
 - 生き生きと対話活動ができるようにしよう！
 - ・ 対話活動する前に、対話活動のゴールを提示
 - ・ 話し合いの目的に応じて、対話活動の形態を選択
- (3) 学習の習得を図る手立て
 - 問題を「選べる」ことで、学びの個別最適化を目指そう！
 - ・ 問題量の選択、Eライブラリの活用
- (4) 「まけじだま」の視点に沿った振り返り
 - 学びを自覚化させ、次につなげていこう！
 - ・ 振り返りの視点をもたせ、学びを自覚化



対話活動の様子

<研究の視点3>

学びを連続・発展させるための環境

- (1) 「家庭学習つなぐボード」と自主学習計画表の活用
 - 「何をすればよいか分からない」をなくそう！
 - ・ 家庭学習に見通しをもたせるために、授業と家庭学習をつなぐボードの活用
 - ・ 帰りの会で、今日の学習計画の立案
- (2) 全職員での補充学習と指導
 - 「ローマは1日にしてならず」みんなで取り組もう！
 - ・ 時数を調整し、全職員で5・6年生に補充学習
- (3) 学習環境の整備
 - 「環境で人は育つ」一貫した環境整備をしよう！
 - ・ 各学年、学校に算数コーナー、自学コーナーの設置
 - ・ 「はかせのことば」の作成と活用



補充指導の様子

授業風景



2年生



3・4年生



5年生

分科会風景



<公開研究会に参加された先生方の感想>

- どの学校も複式になっていくと思うので、とても参考になった。複式に限らずどの学級でも大切な視点を学ぶことができた。
- 算数モンスターを活用することで、子どもたちが考え方を言葉でしっかりと捉えている様子が伝わった。どの学年にも段階的に応用できる取組だと感じた。
- 「大城小スタンダード」やガイドの育成ととても学びの多い時間となった。